

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture

Fourth

2023. Nov. 13

高知県四万十町からのお手紙

先週高知県の四万十町から来られた先生方からお手紙が届きました。
お二人とも、熱のこもったメッセージを届けてくださいましたよ。
大切に読ませていただきます。



瀬戸 SOLAN 小学校 渡辺先生 4年1組の児童の皆様へ

先日はお忙しい中、授業参観をさせていただきありがとうございました。私は事務職員ですので、子どもたちの授業を持つことはありませんが、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

モーニングミーティングでは、皆さんから自己紹介してくれてありがとうございました。みんなが気さくに話しかけてくれたのが非常にうれしかったし、みんなが興味を持っていることを知れてよかったとともに興味を持っていることのレベルが高くて非常に驚きましたし、専門分野についての皆さんの知識に絶対勝てないなと思いました。本当にすごいことです。百人一首も弱くて張り合いがなくてすみません…

1時間目の漢字、数字、ライティングスキルの時間には、大変驚かされました。誰を見ても指示待ちはおらず、自発的に漢字問題に取り組み、算数の問題に移行するときには、方丈記や、徒然草、枕草子、和風月名など、暗唱しているのを見て驚嘆しました。自分が小学4年生のころであれば、「無理」とか「できん」とか文句を垂れていたと思いますし、その内容を自分は中学1年生で暗唱していたような記憶があります。しかも自分の場合はやらされている、覚えさせられている、言わされているという感覚がありましたが、SOLAN 小学校の児童は、明るく元気に暗唱しながら動きを入れるなどして楽しそうにしているのを見て、楽しく勉強しているというのはこういうことなのかと肌で体感できたように思います。皆さんが楽しそうにしていると参観者である自分も少しうれしくなったように感じましたし、担任である渡辺先生であればなおのこと、日々努力し成長していく earth のみなさんを誇らしく思っていることと思います。自主性や自発性というのは一朝一夕で身につくようなものではないですし、暗唱できるようになるまで多くの努力をしてきたのだと思います。「継続は力なり」とは言いますが、それが体現されているのが教室に入ってたったの15分でよくわかりました。本当に素晴らしいことだと思います。

また、算数からライティングに移る際にも100玉そろばんを使っての計算を言いながら、次の準備をしている姿を見て、またも驚かされました。正直な話大人でも、計算を言いながら次の準備をするなんてできない人もいます。何なら自分もおそらくできません。切り替えとは簡単に言いますが、多少なりとも時間がかかるものだと思います。私も皆さんを見習って、コツコツ小さな努力をしていこうと思いました。非常に励みになります。

チャイムが鳴らないということでしたので、時間が近くなった時にみんなどうするのかと思って見ていましたが、キャプテンが「2分前だよ」と全体に声がけしていて非常に感心しましたし、この学校ではこれが当たり前ののだなと思った次第です。

2校時の社会の導入では、地図帳で地名探しをしていましたが、正直私は自分の地元でもあのスピードで探せるのかが怪しいです…。本当に探すのが早く、愛知県の全部の場所を把握しているのではないかと思うほどでした。また、それを楽しそうにする皆さんの姿を見て非常に感銘を受けたことでした。フラッシュカードを使って東北地方の県名、県庁所在地、名産を唱えていましたが、あんなにスラスラいえるのは本当にすごいことだと思います。本当に理解していないとできないことだと思います。また、私たちが高知県から来たということで四国も不意に出されていましたが、詰まることなくスラスラと言っていたのは本当にすごいことだと思います。高知県はナスビが名産なのはなんで？と聞かれたことについて一つ謝らなくてはならないことがあります。年中暖かく雨も多いからナスやキュウリなどの夏野菜が有名とあの時とっさに言いましたが、雨が多く暖かいことは間違いのないのですが、高知県で生まれ育った私としては、キュウリはそこまで印象がなく実際はナス、ピーマン、シシトウ、ショウガ、ミョウガ、ニラなどが、生産量が多く有名な印象でした、すみません。(ちなみにキュウリは生産量6位でした。) また、あまりなじみがないかもしれませんが文旦(95%が高知で生産)や小夏(日向夏)(全国2位)という柑橘類が高知県では有名で、剥きにくいのは難点ですが、非常においしいのでぜひ食べてみてほしいです。

内容に関しまして、「災害」がテーマでしたが、渡辺先生の「災害って何？」という質問をされたときに皆さんがすぐに辞書を引く姿を見て動きの機敏さもそうですが、統制された動きが非常にかっこいいと思いました。また、目に見えないものって何と聞かれるとすぐに多くの意見がポンポンと出てきて、とんちのきいたなるほどと思わせてくれる面白い着眼点の意見もたくさんありました。(特に印象深かったのは「遠く」でした。) 本当に皆さん頭が柔らかく回転も速くて羨ましい限りです。さて、この日は東日本大震災についてでしたね。皆さんがまだ生まれていなかったというのを聞いて、もうそのような歳月が流れたのだなと思いました。当時中学1年生でテスト期間中、実家の高知市で揺れを感じました。慌ててテレビをつけて情報を取得していると、津波の映像が目飛び込み何かの冗談じゃないのか、CGか何

かではないのかと信じられないような目を覆いたくなるような恐怖を感じたことを思い出しました。「花は咲く」から皆さんが目に見えない主題というものを考えていましたが、そういうものがぱっと思いつくのは想像力が豊かかつ多くの知識があるからだと思います。パッと出なくても、一つ一つの言葉を理解して考えようとする姿も見られました。瞬発的な考えも大事だし、熟考した考えも大事だと思います。真剣に動画を見て真剣に主題を考えている様子はとても目に焼き付いています。日本に住んでいる限り、地震からは切っても切れないものです。愛知県であれば東海地震が、高知県では、南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくはありません。今後皆さんもぜひ災害について深く考えてみてほしいです。

3 校時のプロジェクトでは、導入として辞書引きの競争をしていましたが、辞書を引いて問題にされた言葉だけではなく、その周りにある言葉にも目を向けていたのが印象的でした。多くのことに興味を持つというのは「言うは易く行うは難し」なことのひとつだと思います。先生に言われなくても、決まったルールに沿ってずっと辞書引きしている姿、素晴らしいことだと思います。後に渡辺先生から聞いた話では、ストップさせなければ延々とやっているというのを聞いて、本気で楽しんでいるのだなと思ったことでした。この熱量を田野々小学校の児童たちにどう伝えていくのか、それが私たちの課題です。頑張ります。所々で新聞を書きたいという言葉が聞こえていました。新聞を書きたいなんてそんなことあるかと思っていましたが、渡辺先生から壁の新聞はすべて自発的に書かれたものだ聞いて驚愕しました。自分たちの興味のあることを調べみんなに共有する、SOLAN 小学校の柱である「探求」の形のひとつであり、社会に出ても必要とされるスキルだと思っています。余計なお世話かもしれませんが、ぜひ多様なことに興味を持ち、調べ、実践しそれをいろんな人に伝えることを続けてほしいと思います。

内容についてですが、「一つの花」の昔と今どちらが幸せかについてでしたね。討論前にみんな德音読をしていましたが、私たちの場合は、~~さんから席順とかそういったものが普通なのに対して皆さんは、席を立ていいのは 2 人までのルールのもと、みんなとアイコンタクトを取りながら自発的かつ我先にと読み進めていたのが印象的でした。私なら、読まないに越したことはないなと思ってしまうので、ほんとに皆さん尊敬します。たまに 2 人が同時読みするシーンもありましたが、どちらかがしっかり譲ろうとしていた姿から気遣える優しさを垣間見ました。討論に入ってから、昔派か今派か

で別れての討論でしたが、討論の流れが皆さんの頭に入っているのも今までの積み重ねのたまものかなと思いました。また、停滞しそうな場面では、気をまわして次に進行してくれている児童もいましたし、それを先生がほめるとそうすることが良いのだとすぐに理解してそのあとはほとんど停滞が起らず、ほとんど先生が介入することはなく進行していたのがこれまたすごく鍛えられていて定着もしているのだなと思ったことでした。「ノートは作戦基地」を合言葉に自分の意見や相手の意見をしっかりメモして、意見をぶつけ合っていました。「幸せ」というあいまいな答えのないものについて考えるのはすごく難しいことです。昔であれば父も母もいるし、ねだれば 1 つだけでももらえるし、父が高い高いしてくれる。今であれば、芋や豆でなく肉か魚かを食べることができるし、状況的に戦争が終わったか落ち着いた世の中になっていることを想像することもできます。文章から読み取るだけでなく推察もできているのに感心しました。また、相手の納得できる意見に対しては、「あ〜」とか「なるほど」とか賛同の声が聞こえてきて、聞き容れる柔らかな心が育まれていて素敵だなと思いました。大人になると自分の考えが固まってしまう相手の意見を聞き容れるというのが難しい人もいます。自分の信念を持ちつつも相手の意見に寄り添えるような人はとても魅力的ですから、そのままの皆さんでいてくれることを期待しております。

5・6校時の探求の時間は本当にすさまじかったです。小学生ながら、高校生や大学生のような探求学習をしているのが本当にすごいと思います。主体的に自分たちの興味関心のあることについて問いを重ね続け、先生方の面談や友達との対話を通して何をしたいのかどこへもっていきたいのかを明確にして、その興味関心についての深い学びを得て成果を作り上げていく姿に脱帽しました。まずそもそも前述しましたが、興味を持つというのが難しい中で、自分が突き詰めていきたいことを選ぶことができるのがすごいです。日ごろから、多くのことに目を向けて多くのことに思考を巡らせているのだと思います。ポーっと生きていてはだめですね…反省します。私も学校をよりよくするにはどうすればよいかということについて、よく頭を悩ませます。よりよくなってなんだろうとか、どうすることがよりよくなることにつながるのだろうか、そこからさらに改善するには何をしたらいいのだろうかと考えますが、明確な解答や革命的なアイデアが出るわけでもなく下手な鉄砲も数撃ちゃ当たるの精神で多くのことを試しています。タブレットを駆使し、より相手に伝わりやすくわかりやすいものにするためにブラッシュアップして

いるのを見て、大人とやっていることが同じかそれ以上ではないかと感動しました。皆さん本当に能力が高いうえに努力を怠らず楽しんで取り組めているので尊敬します。田野々小学校の児童だけでなく、我々教職員も見習わなくてはならないと思います。

最後にはなりますが、本当に終始驚かされっぱなしな 1 日でした。皆さんにとっては当たり前なのかもしれませんが、私が学生時代の頃は自主的に進んで調べたり発言したりするようなことはありませんでしたし、勉強や運動にそこまで楽しく熱量を持って取り組むことができていなかったなと今更になって思います。皆さんの姿を見て私の凝り固まった価値観がほぐれたような気がします。どうぞこれからも体調にはくれぐれも気を付けて、勉強・スポーツ・遊びなど色々なことに楽しく本気で取り組んでください。私は皆さんの将来が楽しみでなりません。そんな素敵な皆さんから学んだことを田野々小学校に広め、四万十町全体にも広げていけたらなと思います。また、遠いですが高知県にも遊びに来てくださるとうれしい限りです。またどこかで皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。

四万十町立田野々小学校 主事 野村 誠

野村先生からのメッセージだけで、通信 6 枚分にもなっていました。

それほど、みんなの勉強の様子を見て驚き、そしてたくさんの刺激を受けたのだと思います。

前田先生からもお便りが届いていますが、分量がこちらにも非常に多いので明日の通信で紹介しますね。

お楽しみに。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

